

# 金城学院大学の今後について

## ① 設置者変更に向けた基本合意

2028年4月を目標に学校法人名古屋学院大学へ「設置者変更」で基本合意。  
アンブレラ型で両大学が並存運営

アンブレラ型で両大学が並存運営

【運営する学校法人】

学校法人 名古屋学院大学

名古屋学院大学

金城学院大学


## ② 2029年4月に共学化を決定

女子教育のなかで培ってきた強みを土台にしながら、より多くの学生に、より良い学びを届けます。  
これまで大切にしてきた教育の質やサポートの手厚さは、共学化しても、しっかり受け継いでいきます。

## ③ 大学名「金城学院大学」は維持されます

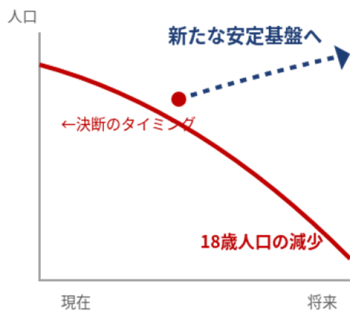
1. 大学名「金城学院大学」は維持
2. 教育の伝統・ブランド・理念を継承
3. キャンパス・学部学科もこれまで通り



 金城学院大学

ブランド、キャンパス、教育内容のすべてに変更はありません。

## なぜ今、この決断なのか？



- ・18歳人口の減少を見据えた中長期的判断
- ・十分な選択肢がある今のタイミングで主体的・計画的に改革
- ・安定した経営基盤のもと教育の質を守る前向きな決断

▶ 選択肢が十分にある「今」主体的・計画的に決断

## なぜ名古屋学院大学なのか？

女子総合大学としての伝統

**金城学院大学**



キリスト教主義  
教育理念の共有

共学の総合大学としての実績

**名古屋学院大学**

### 学問分野の補完関係による親和性

両大学は学部・学科の重複が比較的少なく、相互に補完し合える関係  
互いの強み（ブロックの組み合わせ）を活かすことで、教育・研究面での高い親和性と  
シナジー効果が期待できます。

  
安定した  
経営基盤

### 1. 教育の質を維持・向上する投資

教育研究活動に対する必要な投資を途切れさせることなく継続し、  
学生へ提供する教育の質を維持・向上させます。

### 2. 施設・教育環境の計画的更新

充実したキャンパスライフを支えるため、施設や設備、ICT環境などの  
教育インフラを長期的視点で計画的に更新します。

### 3. 持続可能な運営体制の構築

両法人の知見を活かしてガバナンスとリスク管理を強化し、  
将来にわたり大学を守り抜く持続可能な運営体制を確立します。

## 共学化について

### 2029年4月に共学化

女子教育のなかで培ってきた強みを土台に、  
より多くの学生に、より良い学びを届けるための前向きな一歩  
**教育の質やサポートの手厚さは、**  
共学化してもしっかり受け継いでいきます。

## 在学生・受験生・高校への影響

### 入学予定者・在学生への影響について

- ✓ 卒業まで安心して学べる環境を維持
- ✓ 学生支援・奨学金・キャリア支援は継続
- ✓ 学位取得まで責任をもって支援
- ✓ カリキュラム・キャンパスに急激な変更なし

### 受験生・高校との関係について

- ✓ 高校や塾との関係、進学支援はこれまで通り大切に継続します
- ✓ 2027年度入試については現在発表している内容から変更ありません
- ✓ 皆さまが不安を感じることはないよう情報提供を適時・丁寧に行います

## 今後のスケジュール

2026年

説明・準備期間



2027年

認可手続・準備継続



2028年4月

設置者変更（予定）

学生・保護者・高校・教職員への  
十分な情報提供と対話を継続

法令・認可手続の遵守のもと  
段階的・計画的に進行

学校法人名古屋学院大学へ移行

## 情報提供のお約束

適切な時期に丁寧な情報提供と説明を行います。

今後の検討状況や必要な情報について、受験生・保護者の皆さま、  
高等学校・学習塾の先生方へ、随時、丁寧にお伝えしてまいります。